

● ● ● ● ● 国 見 町 ● ● ● ● ●

4年に一度の伝統行事 神舞

国見町と山口県上関町の祝島の間で、千年以上前から伝わる「神舞(かんまい)」(山口県指定無形民俗文化財)が、8月16日(土)から20日(水)まで行われました。

「神舞」は祝島で四年に一度行われる伝統行事で、言い伝えによると、仁和2年(886)、豊後国伊美郷の人たちが京都の石清水八幡宮の帰りに、嵐に遭い祝島三浦湾に漂着。島民の心からのもてなしを受けたお礼に五穀の種を分け与えたところ、島民の生活が豊かになり「お種戻し」と称して島から別宮社に毎年8月に参拝するようになり、四年に一度は別宮社のご神体と神職、里楽師を迎えて合同で大祭を行うようになりました。

16日には、伊美別宮社の神事後、伊美港を出発した神職らを迎える權伝馬(かいてんま)船や飾り付けをした漁船が勇壮な海上絵巻を繰り広げる入船神事が行われ、家内安全や大漁を祈り岩戸神楽や夜戸神楽など祈願神楽が三日間行われた後、20日に神職らを見送る出船神事が行われました

20日には、伊美港から日帰り観光フェリーで約200人が祝島を訪れ、大漁旗で飾り付けられた權伝馬船や漁船が御座船(ござぶね)を見送る出船神事を見学しました。



▲祝島の皆さんをはじめ多くの人々に見送られ出航する御座船



▲御座船を見送る權伝馬船

● ● ● ● ● 安 岐 町 ● ● ● ● ●

流しソーメンで区の活性化を

8月24日(日)正午から、下原9区ソフトボールクラブ主催の流しソーメンが、同区の公民館で行われました。区の活性化と区民の懇親を図ろうと、区民の皆さんと安岐BOMBEEソフトテニスクラブの会員約50人が参加し、用意された200食分のソーメンは、1時間で完食。冷たくておいしい!と大好評でした。



岡田治生さんが

県陸上競技協会功労賞を受賞

国東市陸上競技協会の岡田治生名誉会長(76・国東町原)が、大分県陸上競技協議会功労賞を受賞しました。

岡田さんは、昭和25年に国東アスレチック倶楽部を設立。その後、東国東郡陸上競技クラブの事務局長として活躍され、陸上競技の発展に貢献した功績が認められての受賞となりました。



▲受賞祝賀会には、市陸上競技協会のOBや会員20人が出席。岡田さんに記念品を贈り受賞を祝いました。(前列中央が岡田さん)